

進路だより

No. 4 令和5年12月25日発行
東京都立田園調布特別支援学校長
中村 由美子
担当：蓮井 祥子

【2・3年生 2学期現場実習振り返り・反省から】

2学期の現場実習では、御家庭の御支援・御協力をありがとうございました。実習終了後、実習評価表を元に、課題や今後の実習先、進路選択について面談で確認をします。

企業、福祉等実習先によって違いはありますが、評価の項目としては、準備・片付け、挨拶・返事・報告、体力、安全性、指示理解、指示を受ける態度、巧緻性、持続性、確実性、速度、意欲、理解力、責任感、積極性、対人関係、協調性、集中力などがあります。上記の項目については学校生活でも取り組んでいます。以下、今回の現場実習の振り返りや反省会、評価表で実習先から提示された良い評価の内容を紹介します。御家庭での日々の取り組みのヒントにいただければと思います。

生活介護事業所

- ・挨拶に自分なりの表現で応じることができた。
- ・利用者や職員の働きかけに、自分の表現で気持ちを伝えることができた。
- ・相手に自分から働きかけることができた。
- ・余暇時間に、落ち着いて過ごすことができた。
- ・利用者や職員からの関わりを、穏やかに受け止めることができた。
- ・伸び伸び過ごすことができた。
- ・活動に興味をもつことができた。
- ・自分の居場所を見つけ、落ち着いて活動することができた。

就労継続B型事業所 就労移行支援事業所

- ・一人で通所が確実にできた。
- ・自分から挨拶ができた。挨拶に応じることができた。
- ・相手の顔を見て返事ができた。
- ・分からないことは、自分から質問ができた。
- ・集中して作業に取り組むことができた。
- ・指示通りに作業ができた。
- ・一人で作業資材の準備・片付けができた。
- ・実習先のルールを守ることができた。
- ・注意や指摘を素直に受け入れることができた。
- ・作業時間と休憩時間の切り替えができた。
- ・周りの状況にあわせて行動ができた。

企業

- ・遅刻、早退、欠勤がなく、勤怠が安定していた。
- ・清潔で、身だしなみが整っていた。
- ・ビジネスマナーが身に付いていた。
- ・前回の指摘された課題を改善し、作業を行うことができた。

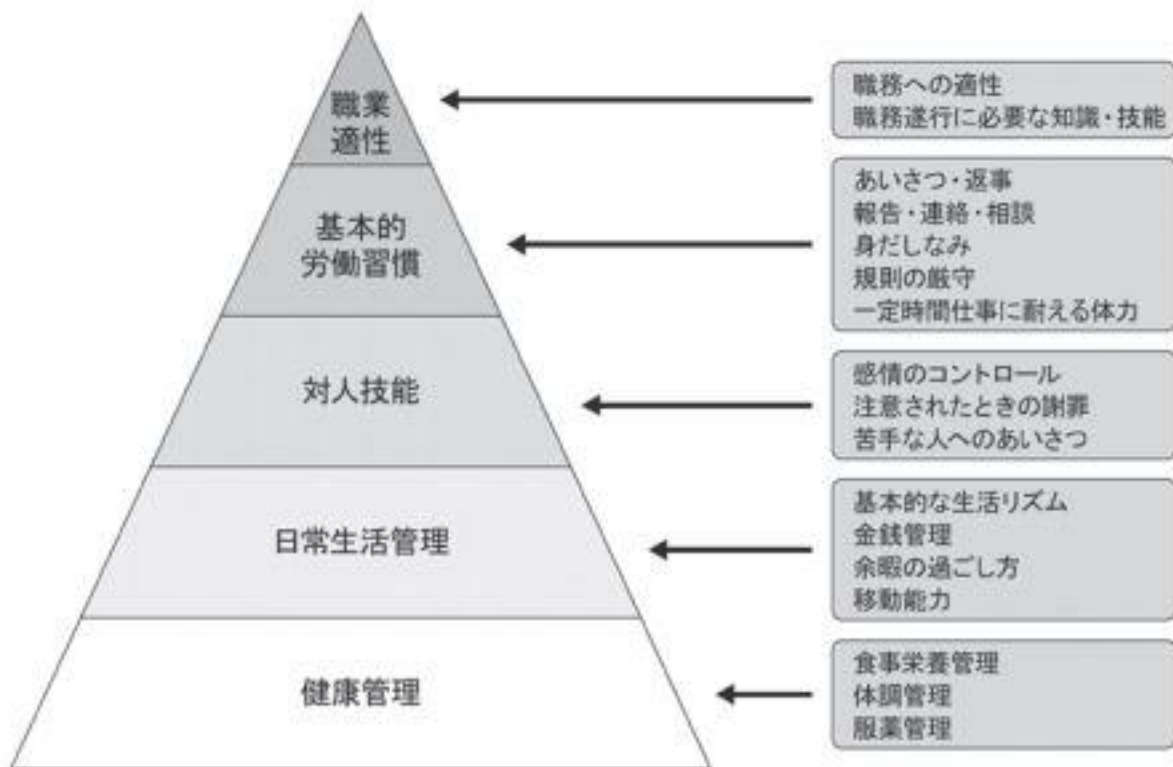
- ・業務を1日行える体力が備わっている。
- ・自ら、挨拶・返事・報告・連絡・相談ができた。
- ・指示された通りに業務が正確に行えたか、自分で確認ができた。
- ・始業時間を守って、一人で行動できた。
- ・指示された業務を、責任をもって最後までやり遂げることができた。

☆卒業後の豊かな社会生活に向けて、それぞれの成長の段階と適性に応じて課題に向き合い、ステップアップしていきましょう。日々の取組や余暇等、充実した冬休みをお過ごしください☆

参考資料

職業準備性ピラミッド

「就労するために必要なこと」は『就労準備性』と表現され、働くことについての理解・生活習慣・作業遂行能力や対人関係のスキルなど基礎的な能力のことを指します。これは、職種、障害の有無を問わず、働く上で必要とされます。就労準備性は5つの能力に分類されます。その5つは「健康管理」「日常生活管理」「対人スキル」「基本的労働習慣」「職業適性」です。これをピラミッド図で表したものが「職業準備性ピラミッド」です。就労するためには、さまざまな力を身に付けることが必要です。例えば、毎日体調を崩さず通勤できること、薬を医療機関に指示された通りにしっかり服薬できることなどです。まずは基盤となる「健康管理」を今一度御家庭で見直していただき、就労選択の幅を広げていければと考えます。



出典「障害者職業センター」

【学校公開】12月19日（火）に企業の方を対象に学校公開を実施し、17社18名の方が参加されました。2・3年生の8班の作業学習の授業を見学され、生徒の作業に取り組む姿勢に感心されていました。いただいた貴重な意見は、今後の作業学習や進路指導に活かしていきたいと思えます。